

幼保特例講座

科目ガイド

～保育士資格取得科目～

2026



東北福祉大学 通信教育部

【お問い合わせ先】

〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡2-5-26

電話 022-292-8011【水曜日電話対応休止】 FAX022-292-8012

<https://www.tfu.ac.jp/tushin> E-Mail yh@tfu.ac.jp

2026年3月 第1版 (TH)

《はじめに》

本特例講座は、認定こども園法改正にともなう「幼保連携型認定こども園」の創設にともない、「幼稚園教諭免許状」と「保育士資格」の両方の免許状・資格を有していることが必要な「保育教諭」の必要性が高まっていることを受け、幼稚園教諭免許状のみを所持している方が保育士資格を取得するために開設されたものです。

皆様がこれから保育教諭として勤務される場合に知識を得ておく必要がある、乳幼児の保育や福祉分野などを中心に学習していただき、保育士資格を取得するだけでなく、今後のお仕事に役立てていただければと思います。

通信教育においては、指定された教科書を読み進めることが「授業」に相当します。まずは教科書を読み、必要な知識を身に付けていきましょう。そのうえで、科目内容の理解度を確認するために、**レポート課題**に解答してみてください。レポートの解答にあたっては、教科書の関連する部分の他、参考図書などを読むとさらに知見が広がるでしょう。

科目修了試験では、論述式の問題に 45 分間で解答が必要です。レポート学習で得られた知識を自分の言葉で表現できることが望ましいものです。また、「乳児保育」の**スクーリング**受講の機会を利用して、さらに保育の専門知識を深めることができます。

単位修得までの学習活動を通じて、「保育教諭」として必要な知識・技術を身に付けていただき、皆様が今後さらに保育・教育の分野でご活躍されることを願っております。

《目 次》

はじめに	p. 1
目次	
レポート解答上の留意点	p. 2
レポートに取り組むにあたって	
教員への質問方法	
レポート解答	
成績登録	p. 3
科目修了試験受験上の留意点	p. 4
科目修了試験受験にあたって	
科目修了試験申込方法	
受験上の留意事項および試験結果の通知	
Web 科目修了試験	
その他	p. 4
各科目の授業内容について	p. 5
「福祉と養護」	p. 6
「子ども家庭支援論」	p. 9
「保健と食と栄養」	p. 11
「乳児保育」	p. 14

●**特例制度の概要** 厚生労働省の HP 「幼稚園教諭免許状を有する者における保育士資格取得特例」および「東北福祉大学 通信教育部 学生募集要項 2026」参照。

《レポート解答上の留意点》

レポートに取り組むにあたって

本特例講座のレポートは客観式レポートです。科目ごとの【レポートに取り組むにあたってのアドバイス】を参考にして、教科書や参考図書をもとに、レポート課題に解答しましょう。

また、「保育所保育指針」や「保育所保育指針解説書」（両方とも厚生労働省のホームページから閲覧可能）は保育を理解するうえで大変参考になります。

教員への質問方法

『学習の手引き 2026』4章1節X-1「担当教員への質問」参照（郵送 or メール）

レポート解答

①解答方法

- ・『学習の手引き』を参照する際は、「客観式レポート」を「レポート課題」と読みかえてください。
- ・『学習の手引き』5章1節II-2「初期設定」を参照し、「TFU オンデマンド」にログインしてユーザ設定を行ってください。
- ・『学習の手引き』5章1節III「使用方法」に記載のとおり、「TFU オンデマンド・サポートページ」を参照し、「セミナー」画面から各科目のレポート課題を選択し、解答後に自動採点してください。
- ・全問解答・採点後は、「問題別詳細」タブから「解説」を読んで必ず復習に努めてください。

②解答上の注意点

- ・各レポートの間・課題ごとに、小問は順番がランダムに出題されます。
- ・問1または課題1から始めてください。各問ごとに8割以上の正答をしないと、次の間に進めません。
- ・解答は何度でもチャレンジ可能です。全問正解を目指して復習してください。
- ・「2つの試験は同時に受験できません」のエラー表示が出た場合は、複数のブラウザでログインしている場合や、シングルクリックすべきところをダブルクリックしている場合などがあります。一旦ログアウトしてすべてのブラウザを閉じた後、再度1つのブラウザでログインし直してください。
- ・Web 解答中、何もしないまま60分以上経過すると画面が途切れてしまいます。各問の解答中に中断する場合は、必ず右下「一時保留」ボタンを押してください。

成績登録

- すべての間に合格した科目のレポートについては、大学メールアドレスへ「合格のお知らせ」が自動配信されます。
- すべての間に合格した後、「Web 客観式レポート評価登録期間」（『試験・スクーリング情報ブック』1部 カレンダー参照）に「履修状況票」に評価登録されます（8割以上正答なので必ず「優」評価になります）。

例) レポート課題に 4/ 1～4/16 に解答→4/17～19 に評価登録されます。

レポート課題に 4/17～5/10 に解答→5/11～13 に評価登録されます。

レポート課題に 5/11～5/27 に解答→5/28～30 に評価登録されます。

- 一度登録されると、それ以降の科目修了試験はいつでも申込みをすれば受験許可になります。
- 一部の問題のみ合格した科目については、科目修了試験の受験許可の対象にはなりません。科目修了試験を受験する場合は、必ず受験する科目のすべての間に合格するようにしてください。

《科目修了試験受験上の注意点》

科目修了試験受験にあたって

本特例講座の科目修了試験は、原則として論述式課題です。科目ごとの【科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス】を参考にして、レポート課題や教科書をもとに、科目修了試験の受験対策をしましょう。

科目修了試験申込方法

科目修了試験申込締切日までに、受験を希望する科目について、下記①②の両方が必要です。

- ①「ポータルサイト」上での受験申込み
- ②「TFU オンデマンド」上でのレポート解答・合格

※「ポータルサイト」と「TFU オンデマンド」は、それぞれ異なる Web システムです。

※レポートは、申込締切日までにその科目のすべての間に合格していることが必要です。

※Web 科目修了試験の申込方法は、『With』でご案内します。

受験上の留意事項および試験結果の通知

『学習の手引き 2026』4章2節Ⅲ・Ⅴを参照してください。なお、「出題内容」および教科書の持込みの可・不可については、幼保特例講座受講者は科目ごとの【科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス】を参照してください。

科目修了試験 申込締切日・実施日時

『試験・スクーリング 情報ブック』2部を参照してください。

日程や会場の追加・変更などは、『With』でご案内いたしますので、ご確認ください。

Web 科目修了試験（希望者のみ）

「福祉と養護」は、希望により会場の科目修了試験に代えて、Web 科目修了試験で受験することもできます。

《その他》

- ・『学習の手引き 2026』3章7節には、幼保特例講座を受講する方向けの非常に重要な内容が掲載されています。必ずご一読をお願いいたします。お手元に無い方はお申し出ください。
- ・幼保特例講座を正科生として受講する方は、『学習の手引き 2026』3章7節の内容が「科目等履修生」の方のみに当てはまる記述もありますので、ご注意ください。
- ・本特例制度は2030年3月まで延長となりましたが、幼保連携型認定こども園の保育教諭のうち、主幹保育教諭と指導保育教諭については、2年間の経過措置後の2026年度末（2027年3月）までに両免許・資格を取得することが必要となりましたので、ご留意ください。
- ・ご不明な点は、ご遠慮なく通信教育部あてにお問い合わせください。

《 p.6～15 各科目の授業内容について 》

【科目の内容（学習のねらい）】

その科目について学ぶ内容や、とくに重点をおいて学習に取り組んでほしいことが記載されています。学習の前に一読してください。

【科目の到達目標】

その科目の学習を通して、最終的に達成されるべき目標となります。目標を意識して学習に取り組みましょう。

【教科書】

各科目に1冊配本されます。繰り返しになりますが、通信教育部においては「授業」の代わりになる大切なものです。レポート課題や科目修了試験に取り組む際に活用しましょう。

【レポート課題】

レポート課題はすべて客観式レポートです。「TFU オンデマンド」にログインし、Web上で解答してください。

※レポート課題は各科目で学ぶべきポイントが出題されていますので、真摯に取り組んでください。

【レポート課題に取り組むにあたってのアドバイス】

科目ごとに教科書の参照する章や具体的なアドバイスが記載されています。レポート課題に取り組む際に参照してください。

【科目修了試験の実施方法】

科目修了試験の実施方法（出題形式や教科書持込みの可・不可など）が記載されています。

教科書が持込可であっても、1科目45分間の受験時間の中で解答するためには、事前に教科書のどこにどんな内容が掲載されているか把握しておくなどの事前準備が必要です。また、教科書が持込可の場合でも、教科書の表現の丸写しをして解答しても合格点は得られません。何の準備もなく試験にのぞむことは避けるようにしましょう。

【科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス】

科目によって出題範囲が異なります。しっかり確認し、科目修了試験受験の準備をする際に役立ててください。

【参考図書】

科目によって指定されている場合もあります。学習にあたって、参考にしてください。

なお、すべての科目において、平成29年度告示の『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『幼稚園教育要領』も参考に学習を進めてください。

※「乳児保育」は、科目修了試験ではなくスクーリングで単位を修得する科目です。そのため、科目修了試験に関する項目がなく、スクーリングについての案内（スクーリング日程や講義内容、スクーリング評価の基準など）が掲載されています。スクーリング受講の際には目を通しておき、事前学習などに取り組みましょう。

福祉と養護			科目コード	HH2801
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R（講義）	1年以上	君島 昌志	

科目の概要

■科目の内容（学習のねらい）

さまざまな理由で社会的養護を受ける児童がいます。また、仕事と家庭の両立を図るために保育施設等を利用する家庭も増加しています。そうした多様な社会環境において児童に関わり、生活支援や心身の発達を保障する中心的な役割をもった職種の代表格が保育士です。そのため、保育士には幅広い専門的な知識と技術が求められます。

本科目では保育士資格を取得するために児童福祉の歴史や理念、制度の枠組み、そして支援を必要とする多様な児童の現状を中心に理解を深めていきます。そして自らの児童観や保育観を再構築し、保育士としてのあるべき姿をとらえていきます。

「こども」「子ども」、「子供」、「児童」「少年」など多様な表記が一般的にあります。法律名、制度名においても、統一されていないことに留意しながら学習を進めてください。

■到達目標

- 1) 児童福祉の歴史や理念の変遷、人権や権利の概念を説明できる。
- 2) 社会福祉制度を形成する様々な法制度の枠組みを説明できる。
- 3) 児童福祉法や関連法の目的、各法における児童の定義を説明できる。
- 4) 児童福祉施設等の種類と目的を説明できる。
- 5) 児童福祉施設等における権利保障、保護にかかわる仕組みを説明できる。
- 6) 児童福祉施設等における専門的な支援の仕組みを説明できる。
- 7) 児童虐待の定義、児童相談所等の虐待対応の仕組みを説明できる。

■教科書

中山正雄監修、浦田雅夫編著「よりそい支える 社会的養護 I 【第2版】」教育情報出版、2023年

レポート学習

■レポート課題

「TFU オンデマンド」にログインし、Web上で解答してください。

■レポート課題に取り組むにあたってのアドバイス

テキスト全編から出題されています。児童の権利に関する史的展開、権利に関する思想、小児化問題、児童福祉法や関連法の概要、児童虐待への対応、生活保護、保育・子育て支援等、とても範囲が広いです。テキストだけでなく、インターネット等も活用しながら、以下に示す「学んでほしい内容～傾向と対策」をもとに事前の学習を行ってから、解答してください。

設問は1単位目50問（すべてテキストの文中から引用した穴埋め問題）、2単位目25問（五者択一問題）、計55問あります。合格基準は8割以上ですが、全問正答をめざして取り組んでください。

● 1 単位目課題で学んでほしい内容（傾向と対策）

- ・子どもの権利、児童の権利に関する条約
- ・児童福祉法の理念
- ・親権
- ・妊産婦、特定妊婦への支援
- ・児童相談所の機能と役割、専門職
- ・児童福祉施設の機能と役割、専門職
- ・母子生活支援施設の目的
- ・里親制度と特別養子縁組
- ・戦前の児童保護の取り組み
- ・ノーマライゼーション
- ・PTSDのある児童への適切な支援
- ・児童発達支援事業
- ・児童福祉分野の手当制度
- ・児童相談所と市町村の連携、「こども家庭センター」の機能と役割
- ・一時保護、一時保護委託
- ・措置にもとづく利用、契約にもとづく利用
- ・市町村における母子保健と児童福祉の連携、「こども家庭センター」の機能と役割
- ・パーマネンシーケア

● 2 単位目課題で学んでほしい内容（傾向と対策）

- ・合計特殊出生率の推移、少子化対策・次世代育成支援の展開
- ・戦前や戦後混乱期における児童保護の取り組みとその篤志家たち
- ・特に障害（児）者の福祉政策に影響を与えた福祉の思想、福祉の理念
- ・「児童の権利」をめぐる歴史的な展開過程、その中での重要な概念
- ・児童福祉法における「児童」の定義
- ・児童福祉法第1条および第2条の意義
- ・母子保健法における「児童」の定義
- ・児童相談所における様々な「診断」
- ・DV防止法にもとづく対応、法的手続き
- ・子どもの貧困に関するOECDの定義、概念
- ・児童福祉施設の種別、またそれらの職員の専門性
- ・障害児に関する福祉サービスの枠組み
- ・児童虐待防止法における児童虐待の定義
- ・生活保護法にもとづく扶助の種類
- ・少年法にもとづく「少年」の定義、「非行少年」の分類と定義

科目修了試験

■科目修了試験の実施方法

[会場科目修了試験]

論述式 1 題出題、1,200 字程度で論述、持込みすべて不可。

会場科目修了試験では、下記の問題が出題されます。事前にしっかり内容をまとめてきてください。持込みは不可のため、まとめた内容を覚えてきてください。

《問題》

「児童の権利」の歴史的展開を説明するため、以下の語句を必ず文中に用いて、1,200 字程度で論述しなさい。また、用いた箇所に下線を引きなさい。

児童権利宣言 1959 (昭和 34) 年

最善の利益

受動的権利

能動的権利

児童の権利に関する条約

児童福祉法の一部改正 2016 (平成 28) 年、第 1 条

[在宅 Web 科目修了試験]

客観式 50 問出題・持込み可・レポートで学んだ範囲や「学んでほしい内容 (傾向と対策)」から出題します。

■科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス

20 世紀に入ってからの子童に関する人権保護や権利擁護の歴史的展開についてまとめて整理する。国際的に重要な宣言や条約等の意義、提起された重要な概念について理解し、説明できるようにする。

子ども家庭支援論			科目コード	HH2810
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R（講義）	1年以上	松本 祥子	

科目の概要

■科目の内容（学習のねらい）

本科目は、家庭の機能および現代的なその課題および問題を理解した上で、保育所を前提として、どのように子育て支援をしていくかを学習することを目標としている。具体的な内容としては、「家庭とその機能」「子育て家庭のニーズ」「家庭支援の意義と基本」「家庭支援の原理と方法」が中心となる。

受講生が現役の保育者あるいは保育経験を有する人々であることから、単に教科書の内容を理解するだけでなく、自らの経験と関連づけて、より深く修得することが期待される。

■到達目標

- 1) 家庭の機能をふまえて、その現代的課題について説明できる。
- 2) 家庭支援の基本的な考え方を説明できる。
- 3) 実践経験を基にして支援を必要としている家庭の実例をあげ、その背景や支援方法について論述することができる。
- 4) 自らの家庭支援実践について、いろいろな角度から評価できる。

■教科書

松原康雄ほか（編）『新・基本保育シリーズ5 子ども家庭支援論 第2版』中央法規出版、2023年

■参考図書

- 1) 柏女霊峰ほか編著『保育相談支援（第2版）』ミネルヴァ書房、2017年
- 2) 小林育子ほか編著『保育者のための相談援助』萌文書林、2018年
- 3) 高辻千恵ほか編著『家庭支援論』ミネルヴァ書房、2017年

レポート学習

■レポート課題

「TFU オンデマンド」にログインし、Web上で解答してください。

■レポート課題に取り組むにあたってのアドバイス

- 1) 課題はすべて教科書の内容をふまえて設定されているので、まずは教科書をしっかり読むことから始めましょう。
- 2) 人名や用語はすべて教科書の表記に従って解答してください。

科目修了試験

■科目修了試験の実施方法

論述式の試験とします。

ノートの参照を可とします。

■科目修了試験を受験するにあたってのアドバイス】

- 1) 問題は5題用意してありますが、その中から2題選択して解答してください(3題以上解答しても採点の対象となるのは2題のみです)。
- 2) 解答された1題につき50点満点で採点します。したがって、解答はできるだけ丁寧に(詳しく)書いてください。
- 3) 科目修了試験は、教科書の内容をどの程度理解しているかを問うものです。したがって、教科書の内容から離れた自分の考えや経験を書いても評価の対象にはなりません。
- 4) ノートの参照を可としますが、教科書をそのままコピーして貼り付けたものはノートとして認めませんので、教科書の主な内容について手書きかパソコンでまとめておいてください。ノート作成に時間がかけられないという人は、大事な部分やキーワードをノートにメモするという形でも役に立つと思われます。

保健と食と栄養			科目コード	HH2803
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R（講義）	1年以上	未定	

科目の概要

■科目の内容（学習のねらい）

本科目では、保育所という集団の中で、子どもの健全育成を図りつつ養護と教育の二つの役割を担う保育士として、健康や安全を守り、心身ともに健やかに育てること、また子どもに自分の健康や安全を守る力を獲得させ、その力を育むための指針を示すことが「保健と食と栄養」の目的になります。

子どもは未熟な状態で生まれ生涯で最も心身の変化がみられる時期です。それだけに栄養には十分に注意し、また、毎日が未知との遭遇により病気や事故にあい、健康をそこなわれることも多いと思いますが、子どもの発育・発達をふまえ、できる限り予防と対処力を身につけ、安心・安全な環境を整え、その管理と教育の両方をバランスよく健やかに育てていただきたいと思います。

特に保育所の場合は、乳児期から幼児期(就学前)までの子どもを対象とすることから、乳児期の特徴として、感染症や事故等に遭うことが多いことと、生命を維持・成長するという特徴があります。また、食の問題も今後の成長過程の基礎づくりであり重要となります。幼児期では、基本的な生活リズムを学び、社会性を身につけさせ、自分の健康や安全を守る力を養う時期です。更に、近年事故の問題も重要な課題であり、発育の段階ごとにさまざまな問題を抱えています。保育所は、長時間の集団生活を送ることから子どもひとりひとりの発達や状態などを観察しつつ、早期に発見し対応することが求められています。それらを可能にするためには家族への支援と関係機関と連携する視点も大切です。自己研鑽を積み、新しい保育保健・栄養の専門職を目指していただきたいと思います。

■到達目標

- 1) 子どもの健康状態を把握し、子どもの主な病気の特徴及び予防と適切な対応について説明できる。
- 2) 障がいのある子どもや特別な配慮を要する子どもの特徴及びその対応について基本的なことを説明することができる。
- 3) 栄養の基本的概念をとらえ、栄養が人体にどのような役割を果たすのかを説明できる。
- 4) エネルギー源となる食品に含まれる栄養素とその特徴を説明できる。
- 5) 望ましい献立と食べ方について、説明できる。
- 6) 乳児期の授乳・離乳の意義及び幼児期・学童期の心身の発達と食生活について説明できる。
- 7) 食育の基本に沿って、食育の内容と計画および評価について説明できる。
- 8) 子どもの食生活へのさまざまな配慮について理解し、説明することができる。
- 9) 障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの食生活への配慮について、説明できる。
- 10) 保育環境・衛生及び事故防止等の安全対策について理解し、説明することができる。
- 11) 地域の関係機関や職員間の連携及び保護者への支援について連携することができる。

■教科書

「保健と食と栄養」編集委員会編『保育士資格取特例教科目テキストシリーズ 保健と食と栄養 第2版』みらい、2020年

※訂正※

教科書 p. 22～23 「鼻出血」における止血方法について、「鼻根部をつまみ冷やすことで止血できるが、・・・」とありますが、正しくは「鼻中隔（左右を仕切る壁）の前方（キーゼルバッハ部位）をつまみ・・・」となります。

■参考文献

- 1) 厚生労働省著『保育所保育指針<平成29年告示>』フレーベル館、2017年（厚生労働省のホームページでも閲覧可）
- 2) 内閣府・文部科学省・厚生労働省著『幼保連携型認定こども園教育・保育要領<平成29年告示>』フレーベル館、2017年（内閣府のホームページでも閲覧可）
- 3) 厚生労働省「授乳・離乳の支援ガイド（2019年改訂版）2019年（厚生労働省のホームページでも閲覧可）

レポート学習

■レポート課題

「TFU オンデマンド」にログインし、Web上で解答してください。

【レポート課題に取り組むにあたってのアドバイス】

本科目では、教科書「保健と食と栄養」内容に基づいて学修しますが、みなさんが既に幼稚園教諭免許を有する方々であり、幼稚園等での勤務経験もあり、日常的に実践されていらっしゃると思います。保育士資格を取得するというこの機会に乳幼児の栄養・食育、感染症や疾病・障害等の関わりについて改めて見直しや確認をし、「子どもの疾病と保育」「安全管理」および「食育の基本と内容」の他、幼稚園では得られない内容などを中心に履修内容を構成しましたので、復習のつもりでしっかりと学んでいただきたいと思います。

本教科書は、理解しやすいポイントを重視した内容となっていますので、学びやすいのではないかと考えています。

※教科書に記載のない語句などは、他の図書やインターネットなどを利用して理解を深めましょう。

※教科書のほか、「新保育所保育指針」、「新幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を参考にし
て理解を深めてください。

科目修了試験

【科目修了試験の実施方法】

論述式・2問から1問選択を2題出題・教科書持込み可

【科目修了試験を受験するにあつてのアドバイス】

問1

- ・自身の経験にもとづく考えを述べるだけでなく、教科書に記載されている内容をふまえた理論的・具体的な解答をしてほしい。
 - ・問1については、A4 解答用紙の表面7～8割程度は埋めるようにしてほしい。ただし、ポイントごとにまとめ、その根拠を記述していただきたい。
 - ・解答は、ポイントをおさえて問題に沿った内容となるようにしてほしい。
 - ・下記1)～10)の内容を学習するために、教科書及び課題問題を紐解きながら学習してほしい。
 - ・保育士資格を取得するためには「保育所保育指針(厚生労働省発)」を一読しておくことも大切です。
- 1) 発達過程にある子どもの特徴を踏まえた健康状態の把握について学習する。
 - 2) 子どもの罹患しやすい感染症の予防及びその対応について学習する。
 - 3) 子どもの精神保健及び心の健康と課題について学習する。
 - 4) 「食を営む力」の基礎を育むためには、どのようなことが大切か、また具体的にどのようなことを留意しつつ計画すればよいのかについて学習する。
 - 5) 養護・教育の一体性の意義について学習する。
 - 6) 集団感染を起こす感染症を予防するための衛生管理及び安全管理のあり方について学習する。
 - 7) 成長発達過程になる子どもの事故防止及び安全教育はどうあるべきか学習する。
 - 8) 病気・障害・食物アレルギーの子どもへの対応について学習する。
 - 9) 地域保健機関及び保護者などとの関連性について学習する。
 - 10) 保育現場における事故防止・安全対策及び危機管理のあり方について学習する。

問2

科目修了試験では、教科書およびレポート課題の内容を復習し、以下の内容について確認をおこなっていただきたい。

- 1) 栄養素の消化・吸収、栄養素の種類とそれぞれの機能について基本的知識を学習する。また過不足による健康への影響は何か理解する。
- 2) 乳児期の栄養・食生活について特徴をまとめ、子どもへの献立作成、調理の基本について学習する。
- 3) 乳児期の発育・発達と食生活について学習する。
- 4) 乳汁期の栄養について、母乳栄養の利点、問題点を理解する。
- 5) 離乳期の栄養、離乳の進め方など成長と発達をふまえて理解する。
- 6) 幼児期の食行動、食生活の意義・習慣について学習する。
- 7) 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。

乳児保育			科目コード	HH2804
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	SR (演習)	1年以上	富澤 弥生	

科目の概要

■科目の内容（学習のねらい）

本科目は、保育士として必要な乳児保育（3歳未満児の保育）の知識を獲得することを目指します。乳児の発達と保育の実際と保健について、ICTと視聴覚メディアを活用し、学習します。さらに、3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の計画について、アクティブラーニング（グループワークなど）を行い、具体的に学習します。

■到達目標

- 1) 乳児保育の理念と役割について説明できる。
- 2) 乳児保育の現状と課題について説明できる。
- 3) 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容について説明できる。
- 4) 全体的な計画に基づく3歳未満児の指導計画が演習において作成できる。
- 5) 乳児保育における連携・協働について説明できる。

■教科書

咲間まり子編著『コンパス 乳児保育』建帛社、2018年

※本科目の教科書の内容は、＜平成29年告示＞の保育所保育指針に対応しています。レポート課題は教科書の内容から出題されています。

■参考図書

今井和子『0・1・2歳児の担任になったら読む本 育ちの理解と指導計画』小学館、2016年

川原佐公『0・1・2歳児の指導計画書き方サポート（CD-ROMつき）』ひかりのくに、2016年

川原佐公『これなら書ける2歳児の指導計画（CD-ROMつき）』ひかりのくに、2016年

横山洋子『記入に役立つ1歳児の指導計画（CD-ROMつき）』ナツメ社、2016年

汐見稔幸『イラストたっぷりやさしく読み解く保育所保育指針ハンドブック』Gakken、2017年

レポート学習

■レポート課題

「TFU オンデマンド」にログインし、Web上で解答してください。

■レポート課題に取り組むにあたってのアドバイス

レポート課題は、○×で答える形式となっていますが、問題文をよく読み、内容を理解しながら取り組んでください。とくに、×の場合は、提出は不要となっていますが、間違っている部分について教科書を参考にして自分で訂正し、正しい内容を覚えるようにしながら、取り組むことをおすすめします。

1単位めのレポート課題は、教科書の1～38ページ（第1章：乳児保育とは、第2章：乳児保育の基本、第3章：乳児保育の制度と課題）を参照してください。

2 単位めのレポート課題は、教科書の 39～72、99-126 ページ（第 4 章：3 歳未満児の発達過程からみる保育内容、第 5 章：基本的生活習慣の獲得、第 8 章：食事の計画、提供及び評価・改善、第 9 章：子育てをめぐる家族の権利と責任）を参照してください。

なお、第 6 章：乳児保育の計画と記録、第 7 章：乳児保育における連携については、レポート課題に含まれていませんが、スクーリング時に学ぶ内容になりますので、事前に読んでおいてください。

スクーリング

■スクーリングの概要

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

スクーリング受講料：10,000 円（スクーリング受講申込後に請求）

留意事項：遅刻・早退・欠席不可。教科書は必ず持参すること。

日程：2026.11/28（土）10：30～17：40 11/29（日）9：10～16：20 90 分授業×8 コマ

申込方法：「ポータルサイト」上でお申込みください（申込期限：10/29）。

■スクーリング講義内容 《演習》

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション、乳児保育の概要、3 歳未満のこどもの発育・発達の理解	乳児保育の理念と役割、乳児保育の現状と課題、発達に関する理論、3 歳未満のこどもの発育・発達とかかわり
2	3 歳未満児の発育・発達をふまえた保育内容①、保健について	1 歳児の発育・発達をふまえた保育の実際、保健について（身体計測）
3	3 歳未満児の発育・発達をふまえた保育内容②、保健について	2 歳児の発育・発達をふまえた保育の実際、保健について（保健計画、災害への備え）
4	3 歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容③、保健について	0 歳児の発育・発達をふまえた保育の実際、保健について（哺乳、離乳食、乳幼児突然死症候群、虐待予防）
5	保育の計画①	全体的な計画に基づく指導計画（月案）の作成と評価（グループワーク）①
6	保育の計画②	全体的な計画に基づく指導計画（月案）の作成と評価（グループワーク）②
7	保育の計画③	指導計画（週案）の作成と評価（グループワーク）
8	乳児保育における連携・協働	保護者や関係機関との連携、質疑応答
9	スクーリング試験	

■スクーリング評価の基準

授業態度および参加状況＋レポート（スクーリング中にグループワークを行ったうえで各自提出）＋スクーリング試験

試験では、乳児保育の理念と役割、現状と課題、乳児保育における連携・協働、3 歳未満児の発達と保育内容、保健についての理解を問います。

■スクーリング時の教科書

スクーリングの際、教科書（『コンパス 乳児保育』）は必ず持参してください。

■スクーリング事前学習

教科書の第 6 章および第 7 章はグループワークの際に必要な内容なので、事前に読んでおいてください。